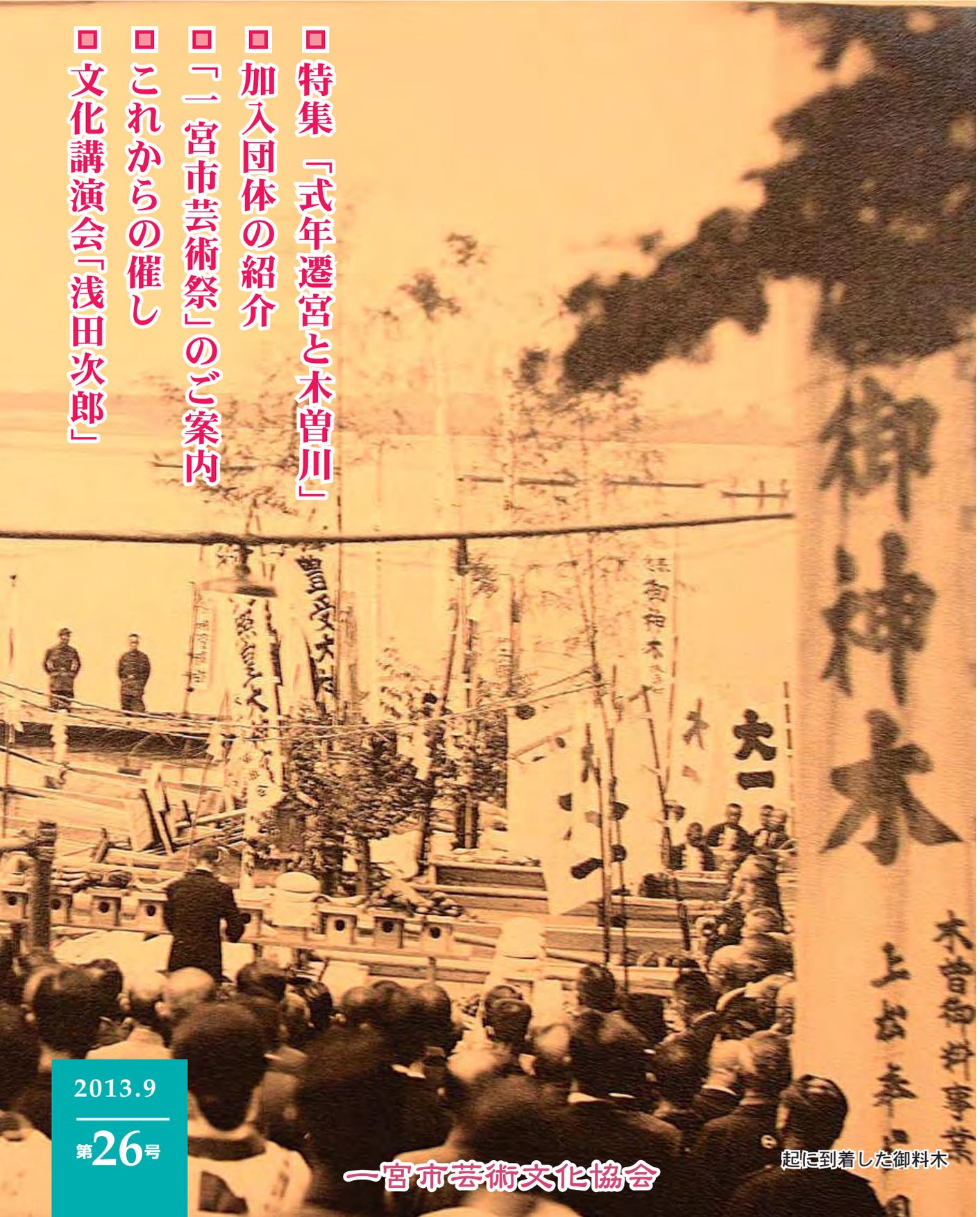


# いちのみやの芸術文化

- 特集 「式年遷宮と木曾川」
- 加入団体の紹介
- 「二宮市芸術祭」のご案内
- これからの催し
- 文化講演会「浅田次郎」



起に到着した御料木

2013.9

第26号

一宮市芸術文化協会

ICHINOMIYA Arts and Culture Association

一宮市には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館・木曾川資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

# 式年遷宮と木曾川

## 伊勢神宮の始まり

伊勢神宮の始まりは、垂仁天皇の皇女倭姫命が天照大御神を祀る地を探し、現在の伊勢神宮（内宮）の地に着いたのが、始まりとされます。一宮市には、倭姫命が立寄られたとされる中嶋宮の伝承が残り、萩原町中島の島崎から、伊勢に向かったとされます。その時に、白張提灯をつけて倭姫命を見送ったという言い伝えもあり、萩原町中島にある中嶋宮（八剣社）で、竹棹に白張提灯を結び、四地区から二本ずつ奉納する祭礼が四月に行われており、これに引き継がれているとされています。

また、元伊勢の一つであると言われている今伊勢町の酒見神社の社殿は、北東向きに建っています。一般的な神社の社殿は、南向きであるため、これは大変珍しい造り

なっています。酒見神社の場合、南西に向かって拝礼する形になり、拝礼した酒見神社の背後、南西方向というのは、ちょうど伊勢神宮が建っている方向になります。このように、市内には伊勢神宮と関わりのある伝承や史跡が、数多く残っています。



▲萩原町中島地区での祭礼の様子

## 木曾川と御料木

さて、今年の十月、伊勢神宮において六十二回目の式年遷宮が行われます。式年遷宮とは、二十年に一度、社殿や神宝を作り替え、御神体を奉遷することです。戦国時代の一時的中断や、敗戦後の混乱による延期を除き、天武天皇の発案で、持統天皇四年（六九〇）より、二十年に一度行われてきました。式年遷宮は、使用される御料木の伐り出しから、御神体を移す遷御、宮内庁の楽師による神楽奉納まで八年の歳月が必要で、その期間に三〇の祭典・行事が行われます。

この式年遷宮は、一宮市を流れる木曾川と深いつながりがあります。当初、式年遷宮で使用される膨大な御料木は、紀州や伊勢から伐り出されていましたが、江戸時代以降、山林資源の枯渇から、木曾の山々から採取されるようになりました。そして、それらの御料木は、木曾川を利用して、木曾川流域の神社に停泊し、伊勢まで運ばれました。江戸時代、この市域では、小信中島の二ツ屋にある堤治神社（小信中島字宮浦七八〇一）が、停泊地となっていました。明治時代中期以降には、起の金刀比羅社（起字堤町三七）に停泊するようになってきました。

## 最後の川下り

最後の川下りは昭和十六年（一九四一）で、第五十九回式年遷宮の時でした。すでに中央本線も開通し、木曾川にはダムが建設されていたため、伐り出された御料木は、木曾上松（長野県木曾郡中北部）、付知（岐阜県中津川市）から美濃太田（岐阜県美濃加茂市）までは鉄道で運ばれ、そこから桑名までは、木曾川を流して運ばれました。

十月六日、美濃太田を出発した御料木は、犬山に停泊し、翌日の午前九時に出発しま



▲太田町から木曾川に流す御料木(現 岐阜県美濃加茂市)

した。次の停泊地の起では、早朝より奉祝の煙火が打ち上げられ、町民を総動員して沿岸を清掃し、御料木が来るのを待ち続けました。北方、笠松、奥町などの木曾川流域の村に立ち寄り、当時の笥市太郎起町長の出迎えを受け、午後四時五〇分頃に、起の金刀比羅社に到着しました。

起町主催の歓迎の宴が催され、県知事以下、多くの来賓が招かれました。水天宮川祭（現濃尾大花火・明治二十五年、起の若者達により、川舟を飾り立て、花火を打ち上げたのが始まり）で使用する提灯を着けた川舟が出たり、獅子舞、奉納舞踊などが



▲起に到着した御料木

執行されたり、大変な賑わいだったそうです。起警防団、青年団が夜通しで警備を行い、翌日の午前九時、起を出発して、桑名に向かいました。町長は、朝日村だった西中野まで、見送りました。

その二ヶ月後、日本は太平洋戦争に突入し、昭和二十四年に予定されていた第五十九回式年遷宮は、敗戦のため、昭和二十八年に延期を余儀なくされました。以降、濃尾大橋など、木曾川に橋の建設が相次ぎ、昭和四十八年、第六十回の式年遷宮から、御料木の奉送はトラックとなり、停泊地も、川沿いの起から内陸部の真清田神社へ移りました。今回の式年遷宮では、平成十七年六月七日、犬山を出発した御料木は、青塚社（北方町）、賀茂神社（玉ノ井）、貴船神社（奥町）、若宮神社（奥町）、堤治神社、金刀比羅社に立ち寄った後、真清田神社のお旅所に到着しました。お旅所から本殿へ奉迎するための「御木曳き」には八千人が参加し、歴史に残る程の一大行事が行われ、翌日には次の地点へ向け出発しました。運搬はトラックになりましたが、木曾川沿いを走り、停留する神社では祭礼が執行されるなど、それまでの歴史を尊重したものになっています。

一宮市尾西歴史民俗資料館

学芸員 宮川 充史

私達は「一宮茶道連盟」に所属し、日本の伝統文化の一翼を担う茶道の愛好者や、日常生活に密着して、季節のお花からお菓子、素晴らしい道具、懐石料理や点前を通じ、“和”の心を大切にするとともに、幅広い知識を得ることを目的としています。

私達が参加している行事は、「一宮七夕まつり」に協賛している7月の「納涼茶会」(今年は26日(金)から28日(日)・一宮スポーツ文化センターにて)や、秋の「一宮市芸術祭」では、10月の「市民茶会」(真清田神社内桃丘亭、及び参集殿にて)があり、11月の「一宮茶道連盟茶会」では、妙興寺全山を借りて、濃茶や薄茶等、三席と点心席があり、大茶会が盛大に行われます。いずれも席主の趣向が生かされ、楽しみな茶会です。今年の「市民茶会」は10月6日(日)、「一宮茶道連盟茶会」は11月17日(日)にあります。

また「日本文化クラブ」の小学生へも稽古を行っています。座ることの少ない昨今ですが、お菓子のいただき方や抹茶の飲み方など、立ち居振る舞いの基礎ができるようになり、喜ばれています。

もっと多くの学校に茶道を普及させる様に願いますと共に、日頃お忙しい方も、御年配の方も、性別も問わず、目的があれば楽しい人生が送れると思います。ぜひ“一期一会”の<sup>ひととき</sup>一刻を、一緒に楽しみましょう。お気軽にお出掛け下さい。



◀市民茶会にて

【問合せ先】渡辺 たか子 ☎77-3834

一宮現代詩協会は、昭和45年、詩集<sup>しゅうし</sup>を上梓することを目標に、詩が好きな仲間が集まった団体です。

市民文芸集の「いちのみや文芸」には、昭和46年に創刊されてから、ずっと出品を続けています。また、初代代表者で、戦争の悲惨さを綴られた稲葉忠行先生は、49年1月に創刊された会員の詩集「扇状地」を、39号まで発刊しました。その後は、詩集「おりづる蘭」を引き続き刊行し、現在は、7号まで発刊しています。

桜梅桃李の人生、自分らしく、生き生きと文化の薫り高い潤いのある町づくりのため、一宮スポーツ文化センターで開催する「一宮現代詩祭」は、待ちに待った私達の詩作の発表会です。詩を作ることは、書き上げた満足感を感じ、心を輝かせながら生きてゆける最高の贅沢です。作者は18歳から100歳まで幅広く、感情こめて自分の作品を

読みあげれば、一人ひとりが同苦し、合評してくれます。

言葉の持つ力は大きく、自由に書くことができる詩で、人に勇気と希望を与えたいと思っています。普段の活動では、詩以外にも、趣向を変えて、ピアノ演奏や腹話術、ハーモニカ演奏なども行い、親睦をはかるために食事会も行っています。詩心のある方はもちろん、初めて詩を書きたいという方でも、どなたでも大歓迎です。



◀一宮現代詩祭にて

【問合せ先】青木 小代子 ☎62-8067

麗筆会は、昭和38年、橋本翠川先生（故人）により発足されました。今年で50年を迎えます。「書をもって郷土の生活環境の浄化と地域文化の発展向上、次代を担う青少年の健全な育成に寄与する」という翠川先生の心情を目標に、今日まで歩んできました。

会の大きな年間行事としては、3月に尾西市民会館で「麗筆会全国書道早春展」を開催しています。併展として硬筆部展、ジュニア部展、シニア部展も開催し、出品された作品は全て展示をしています。会場は、足を運んでくれた子供達や、それを見守る親御さん、おじいちゃん、おばあちゃん達の温かな笑顔で、溢れています。

また、9月には一宮市芸術祭参加行事である「麗筆会展」を、一宮スポーツ文化センターで開催します。こちらは会員、準会員、ジュニア会員による書展で、昨年は547点の出品がありました。基

礎勉強の古典臨書、漢字創作作品、仮名作品、心浄める心経、心に響く言葉など、工夫を凝らし、それぞれの思いをこめて書き上げられた作が並び、会場は毎年「芸術の森」となります。今年も9月20日(金)から22日(日)に開催します。是非一度、お出掛けください。

他にも、中日書道展、(公社)中部日本書道会一宮支部展、一宮市美術展などにも参加しています。これからも、皆様に愛され、親しまれる会であるよう、努力していききたいと思います。



▲麗筆会展会場風景

【問合せ先】岩田 潤流 ☎62-1841

一宮シティー室内管弦楽団は、一宮消防音楽隊の名誉隊長をされていた、当時の大森石油会長であった大森喜代三郎氏（故人）の提唱で、地元のアマチュアの演奏家を中心に、1993年に結成されたオーケストラです。

メンバーは教師や医師、自営業、主婦など、その他、種々の職業の方が参加しています。普段は、ヴァイオリンやヴィオラ、チェロ、コントラバスの弦楽合奏のみで練習しておりますが、管、打楽器が必要なときは大森石油ウインドアンサンブルの協力をいただいています。このため管弦楽団と名乗っています。

1994年以来、水山宗己先生の熱心な指導のもと、練習を重ね、これまで毎年1回、定期演奏会を開催しており、今回で節目の第20回目になります。今年も、一宮市尾西市民会館にて10月20日(日)に開催します。レパートリーは、ヴィヴァルディ

やバッハなどのバロックから、モーツァルトやベートーベン、さらには近代の作品まで、幅広い選曲をしています。定期演奏会以外にも、地元での各種催し物や、ボランティア活動などへも、積極的に参加しています。

普段は、第2土曜日の午後6時30分から中日新聞一宮支局で、第4日曜日には午後1時30分から大森石油練習場で練習をしています。現在、団員を募集しておりますので、弦楽器経験者で興味のある方は、見学にお越しください。



▲普段の練習風景

【問合せ先】今川 卓一郎 ☎69-2092

# 第68回 一宮市芸術祭

今年の「一宮市芸術祭」は次のおり開催されます。ぜひお出掛けください。

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
2013 一宮美術作家協会展	8月31日(土) ～9月16日(祝)	AM9:30～PM5:00	一宮市博物館	博物館常設展 観覧料200円	一宮美術作家協会
三美会展	9月3日(火) ～8日(日)	AM9:00～PM5:00 (3日はPM1:00～、 8日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美術館	入場無料	グループ絵ごころ三美会
楽しく描こう会 水彩画展	9月10日(火) ～15日(日)	AM9:00～PM5:00 (15日はPM3:30まで)	尾西歴史民俗 資料館		楽しく描こう会
第10回記念 尾西展	9月11日(水) ～16日(祝)	AM9:00～PM5:00 (16日はPM4:00まで)	三岸節子記念 美術館		尾西美術連合
第24回 手つむぎ・染め・織り展	9月18日(水) ～22日(日)	AM10:00～PM6:00 (22日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		尾張もめん伝承会
一宮写真協会 選抜写真展	9月19日(木) ～29日(日)	AM9:30～PM5:00	一宮市博物館		博物館常設展 観覧料200円
第49回 麗筆会展	9月20日(金) ～22日(日)	AM10:00～PM5:00 (22日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	麗筆会
尾西面打会 能・狂言面作品展	9月21日(土) ～22日(日)	AM9:00～PM5:00 (21日はAM10:00～、 22日はPM4:30まで)	三岸節子記念 美術館		尾西面打会
第15回 桃墨会展	9月25日(水) ～29日(日)	AM9:00～PM5:00 (25日はPM1:00～、 29日はPM4:30まで)	玉堂記念 木曾川図書館		桃墨会
四季の風 水彩画展	10月1日(火) ～9日(水)	AM10:00～PM6:00 (1日はPM1:00～、 9日はPM3:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館		四季の風
あざみの会 絵画展	10月3日(木) ～6日(日)	AM9:00～PM5:00 (3日はAM10:00～、 6日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		あざみの会
楽陶会 & 日中古墨書道展IV					楽陶会・日中古墨書道 友好協会尾張支部
市民茶会		AM10:00～ PM3:00	真清田神社	1,500円	一宮茶道協会
尾西ウィンドオーケストラ 第74回定期演奏会	10月6日(日)	PM2:00～ PM4:00	尾西市民会館	一般1,000円 中学生以下無料	尾西ウィンドオーケストラ
水彩画発表会	10月8日(火) ～13日(日)	AM9:00～PM5:00 (8日はPM0:00～、 13日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館	入場無料	タンポポの会
第13回 山ぶどうの会展	10月10日(木) ～13日(日)	AM9:30～PM5:00 (13日はPM4:00まで)	一宮スポーツ 文化センター		山ぶどうの会
土筆の会展					土筆の会
花畑スケッチブック展	10月10日(木) ～18日(金) (土曜・日曜・祝日を除く)	AM8:30～PM4:00 (10日はAM11:00～、 18日はPM2:00まで)	ふれあいセンター たくみ		花畑
狂俳大会	10月12日(土)	PM1:00～ PM4:30	葉栗公民館		一宮狂俳壇連盟
尾西俳句大会	10月13日(日)	AM10:30～ PM5:00	尾西生涯 学習センター	800円	尾西俳句会
いちのみや文芸2013 発刊				1冊 800円	随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集
文化講演会	10月19日(土)	PM1:00～ PM2:30	尾西市民会館	入場無料 (要入場整理券)	講師：浅田次郎さん (作家)
一宮シティー室内管弦楽団 第20回定期演奏会	10月20日(日)	PM2:00～ PM4:00		1,000円	一宮シティー室内管弦楽団

行事	期日	時間	開催場所	入場料 参加料等	団体
いぶき 水彩画展	10月22日(火) ～27日(日)	AM9:00～PM5:00 (27日はPM4:00まで)	尾西歴史民俗 資料館	入場無料	いぶき
秋季謡曲大会	10月27日(日)	AM9:30～ PM4:30	産業体育館		一宮謡曲同好会
一宮市民華道展	11月2日(土) ～3日(祝)	AM10:00～PM4:00 (3日はPM3:30まで)	一宮スポーツ 文化センター		一宮華道連盟
一宮吟剣詩舞道大会	11月3日(祝)	AM9:20～ PM4:30		一宮吟剣詩舞協会	
俳句大会		AM11:00～ PM4:30		800円	一宮俳句協会
一宮現代詩祭		PM1:00～ PM4:00		200円	一宮現代詩協会
短歌大会	11月10日(日)	PM1:00～ PM4:30		尾西市民会館	500円
第41回一宮音楽家協会 定期演奏会		PM2:00～ PM4:00	一宮音楽家協会		
尾西芸能祭	11月16日(土) ～17日(日)	PM0:00～ PM4:00	尾西市民会館	入場無料	尾西芸能祭実行委員会
尾西華道展・お茶会		AM10:00～ PM4:00 (お茶会はPM3:00まで)			尾西華道展・お茶会 実行委員会
一宮茶道連盟茶会	11月17日(日)	AM9:00～ PM3:00	妙興寺	8,000円	一宮茶道連盟
一宮三曲協会 定期演奏会	11月23日(祝)	AM11:00～ PM4:30	一宮スポーツ 文化センター	入場無料	一宮三曲協会
第59回中部日本書道会 一宮支部展	11月23日(祝) ～24日(日)	AM10:00～ PM4:00 (23日はPM1:00から)			(公社)中部日本書道会 一宮支部
第42回 一宮支部 学生書道展					一宮合唱協会
第37回 一宮合唱祭	11月24日(日)	PM0:30～ PM4:30	尾西市民会館	入場無料	山瑩会
曾山流樹徳吟詠会山瑩会 錬成会		AM9:45～ PM4:00	尾西商工会館		一面会
第29回 一面会 能・狂言面作品展	11月26日(火) ～12月1日(日)	AM10:00～PM6:00 (26日はPM0:00～、 1日はPM4:00まで)	玉堂記念 木曾川図書館	前売400円 当日500円	水絵の会
水絵の会展		AM9:00～PM5:00 (26日はPM1:00～、 1日はPM4:00まで)	三岸節子 記念美術館		尾西作家協会
第11回 尾西作家協会展					尾西ガリバンパンの会
ガリバンパン 水彩画展	12月3日(火) ～8日(日)	AM9:00～PM5:00 (3日はPM1:00～、 8日はPM4:00まで)	一宮市民会館	前売400円 当日500円	一宮市民吹奏楽団
一宮市民吹奏楽団 第38回定期演奏会	12月8日(日)	PM1:30～ PM3:30			旭雅楽会
第4回 雅楽フェスティバル	12月14日(土)	PM1:00～ PM3:00	尾西市民会館	入場無料	安美&コンプリオ
安美&コンプリオ クリスマスコンサート	12月22日(日)	PM2:00～ PM4:00			



いちじく  
「無花果」  
河村明美



### 《市および市内公共施設の催し》

#### 一宮市博物館

☎(46)3215

#### 「一宮写真協会選抜写真展」

日時 9月19日(木)～29日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

24日(火)休館。)

内容 ● 感性に裏打ちされた表現力

で熱い思いを込めた作品を  
展示します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

#### 特別展「縄文から弥生へ」

～馬見塚遺跡の時代～

日時 10月12日(土)～11月17日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、月曜日が休日の

場合は翌日休館。)

内容 ● 馬見塚遺跡の研究史を振り

返るとともに、出土資料が

もの語る尾張平野の縄文時

代後晩期から弥生時代の様

相を考えます。

観覧料 ● 一般 400円

高大生 200円

小中生 100円

※市内小中学生・65歳以上無料

#### 「特別展」関連事業

##### 展示説明会

日時 ①10月19日(土)②11月10日(日)

午後1時30分～

内容 ● 担当学芸員が特別展の見どころ

ころを解説します。

※要特別展観覧料・申込不要

#### 講演会

日時 ①10月20日(日)②11月3日(祝)

午後1時30分～3時(開場

は開演30分前)

講師 ● ①岩野見司氏(元一宮市博

物館長) 能登健氏(前橋市

教育委員会)

②設楽博己氏(東京大学大

学院教授)

内容 ● 展覧会にあわせ講師の先生

をお招きし、ご講演いただ

きます。

会場 ● 妙興寺公民館

定員 ● 150名(要整理券)

※要特別展観覧料・博物館にて当

日の正午より整理券を配付

#### 企画展「2013

##### 一宮市現代作家美術秀選展」

日時 11月30日(土)～12月15日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館。)

内容 ● 第71回一宮市美術展市長賞

受賞者、依頼出品者、一宮

美術作家協会・一宮書道協

会・一宮写真協会推薦者の

作品を展示します。

観覧料 ● 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

※市内小中学生・65歳以上無料

#### 三岸節子記念美術館

☎(63)2892

#### 特別展「ヴェネチア展」

日時 10月15日(土)～11月24日(日)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、月曜日が休日の

場合は翌日休館。)

内容 ● 人々を引きつけるイタリ

アのヴェネチアを舞台に描か

れた作品を通して、その魅

力を改めて発見していただ

きます。

観覧料 ● 一般 700円

高大生 400円

小中生 200円

※市内小中学生・65歳以上無料

#### 「ヴェネチア展」関連事業

##### 美術館講演会

日時 ①10月14日(祝)②11月10日(日)

午後2時～(開場は開演30

分前)

講師 ● ①陣内秀信氏(建築史家)

②林洋子（京都造形芸術大  
学准教授）

**内容** 展覧会にあわせ講師の先生  
をお招きし、ヴェネチア展  
の画業をひもときます。

**会場** 美術館1階講義室

**定員** 100名 ※聴講無料

### ギャラリートーク

**日時** 10月19日(土)・11月17日(日)  
午後2時～

**内容** 担当学芸員が特別展「ヴェ  
ネチア展」の見どころを解  
説します。

※要特別展観覧料・定刻までに美  
術館2階ロビーに集合

### 常設展「三岸節子ヨーロッパと

**風景画―新収蔵作品とともに―**

**日時** 10月5日(土)～1月13日(祝)  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで、  
月曜休館、月曜日が休日の  
場合は翌日休館、12月28日  
(土)～1月4日(土)休館。)

**内容** 新たに収蔵された三岸節子  
の作品とあわせ、フランス  
やイタリア、スペインなど  
を描いた優れた風景画の数  
々をご紹介します。

**観覧料** 一般 320円

高大生 210円  
小中生 110円

※市内小中生・65歳以上無料

### せつこっこクラブ\*12月

### コラージュでクリスマス

**内容** 新聞、広告、雑誌などを切  
り抜いて貼って、世界に一  
つのクリスマスカードを作  
りましょう。

**日時** 12月21日(土)

午後2時～4時

**対象** 小学1年生～中学生

**申込み** 「往復はがき」か「FA

X」に必要事項を記入の  
上、開催日の10日前まで  
に美術館へ。

※要参加費・定員有り

### 尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

### 特別展「公方様御進発

徳川家茂 長州征伐と起宿

**日時** 10月12日(土)～12月1日(日)

午前9時～午後5時

**内容** 14代將軍徳川家茂は長州征  
伐に向かった際、美濃路を  
通り、起宿に宿泊しました。  
本展では、そのときの宿場  
の対応などを紹介します。

**観覧料** 無料

### 「公方様御進発」関連事業

### 展示説明会

**日時** 10月14日(月)・11月4日(月)  
午後1時30分～3時

**内容** 担当学芸員が特別展「公方  
様御進発」の見どころを解  
説します。 ※聴講無料

### 講座「美濃路探訪」

**日時** 10月27日(日)

午前9時～午後4時30分

**内容** 江戸時代の主要な街道であ  
った美濃路について、歴史  
と現在の様子を講義と現地  
学習で学びます。

**定員** 36名

※要参加費・要申込み。詳しくは  
9月号広報を参照。

### 第13回もみじまつり

**日時** 11月23日(祝)・24日(日)

午前10時～午後4時

(お茶会は3時まで)

**内容** 旧林家住宅を会場にお茶会

や山野草展、箏の演奏など  
を2日間にわたり催します。

**入場料** 無料(お茶会は300円)

### 中央図書館

☎(72)2343

### 大正の広重 吉田初三郎鳥瞰図展

**日時** 10月22日(火)～11月4日(月)  
午前9時～午後9時

**内容** 吉田初三郎の鳥瞰図を展示  
します。

**会場** 6階 多目的室2

**観覧料** 無料

### 東海・北陸・近畿のポスト写真展

**日時** 12月3日(火)～15日(日)

午前9時～午後9時

**内容** ご当地の郵便ポストの写真  
を展示します。

**会場** 6階 多目的室2

**観覧料** 無料

### 玉堂記念木曾川図書館

☎(84)2346

### 「川合玉堂 生誕140周年記念

### 特別展 ふるさとの風景」

**日時** 10月11日(金)～11月13日(水)

午前10時～午後6時

(月曜休館、月曜日が休日  
の場合は翌日休館。)

**内容** 一宮市木曾川町出身の日本  
画家川合玉堂の作品を展示  
します。

**観覧料** 無料

**「特別展」関連事業**

**記念講演会**

**日時** 11月13日(水) 午後2時～

**講師** 吉田俊英氏

(豊田市美術館館長)

**内容** 川合玉堂の日本画の展開

と題して、ご講演いただきます。  
ます。

**会場** 図書館2階視聴覚室

**定員** 100名 ※聴講無料

※展示や講演会についての問合せ  
は、一宮市博物館(46) 32  
15まで



**『市民短歌教室』**

【問合せ先 真清短歌会】

☎(62) 4654

**日時** 9月8日(日)・10月13日(日)

12月8日(日) 午後1時～

**会場** 一宮スポーツ文化センター

**内容** 真清短歌会委員により実作  
指導します。(初心者歓迎)

**参加料** 無料

**申込み** 当日直接会場

**『狂俳月例会』**

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(51) 2286

**日時** 9月14日(土)・11月9日(土)

12月14日(土) 午後1時～

**会場** 葉栗公民館

**内容** 各自10句持参、互選により  
優秀作を記録に残します。  
(初心者歓迎)

**参加料** 無料

**『市民川柳教室』**

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45) 6951

**日時** 9月22日(日)・10月27日(日)

11月24日(日) 午後1時～

**会場** 一宮スポーツ文化センター

**内容** 自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

**参加料** 無料

**申込み** 当日直接会場

**『市民俳句教室』**

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73) 5504

**日時** 9月22日(日)・10月27日(日)

11月24日(日)・12月15日(日)

午後1時～

**会場** 一宮スポーツ文化センター

**内容** 当季雑詠3句を一宮市民俳  
句教室委員が指導します。  
(初心者歓迎)

**参加料** 無料

**申込み** 当日直接会場

**『秋の市民俳句吟行会』**

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73) 5504

**日時** 10月18日(金) 午前9時～

(一宮税務署西側に集合)

**行先** 東近江大風会館(滋賀県東

近江市)他

**定員** 40名

**参加料** 800円(昼食は持参)

**申込み** 9月26日(木)までに事務局

へ連絡 ☎(84) 0013

**『馬場獅子屋形打囃子保存会  
秋祭』**

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84) 0013

**日時** 10月20日(日) 午後1時～

**会場** 熱田社(千秋町加納馬場)他

**内容** 道行打囃子を演奏しながら  
獅子屋形を曳き回します。

**『曾山流樹徳吟詠会 山鑿会  
第二回吟詠大会』**

【問合せ先 山鑿会】

☎(62) 7647

**日時** 10月27日(日)

午前9時45分～午後5時

**会場** ウィンクあいち(愛知県芳

働産業センター・名古屋駅  
より徒歩5分)

**内容** 吟詠発表会。(構成吟・戦国

の風雲見 炎のごとく)

**入場料** 無料

**『重吉甘酒祭保存会 甘酒祭』**

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(84) 0013

**日時** 10月27日(日) 午後2時～

**会場** 八幡神社(丹陽町重吉)

**内容** 神前に甘酒と強飯を供え、  
お神楽を奉納します。甘酒

と強飯は参拜者に振るまわれ  
れます。

## 《県文化協会連合会の催し》

### 「愛知県民茶会」

期日 10月27日(日)

午前10時～午後3時(予定)

会場 常滑市民文化会館

常滑市中央公民館

茶券 前売券800円(2席)

当日券500円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

### 「西尾張部芸能大会」

期日 11月24日(日)

式典 午後0時30分～

(開場は30分前)

開演 午後1時10分～(予定)

会場 名古屋文理大学文化フォー

ラム(稲沢市民会館) 中ホ

ール

入場料 無料

当協会出演団体 百の会

(芸能部舞蹈部門)

## 《県文化協会連合会の催し》

### 報告

#### 「愛知県文連美術展」

7月23日(火)～28日(日)、愛知県美

術館8階ギャラリーを会場に第38

回愛知県文連美術展が開催されま

した。県下より、343作品が入

賞・入選に輝きました。

例年より早い時期での開催でし

たが、夏休みということもあり、

大学生や高校生のみならず、多く

の小中学生も来場し、いつも以上

に盛大に開催されました。

本協会からも(日本画の部)今

枝昭さん、今枝由恵さん、尾池純

子さん、瀧廣美さん、(洋画の部)江

口和夫さん、文彦さん、橋本進さ

ん、長谷川千代子さん、米津美代

子さんがそれぞれ力作を出品され

みごとに入選されました。



## 第71回

## 一宮市美術展

### 開催要項

【会期】11月14日(木)～17日(日)

午前9時30分～午後5時

(最終日は4時30分)

【会場】一宮スポーツ文化センター

(一宮市真清田1-2-30)

【種目】日本画/洋画/彫刻・立体

/工芸/デザイン/書/写真

【主催】一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】11月9日(土)・10日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品規定】1種目につき1人1点

とし、他の公募展・コンクール

に未発表の作品に限る。中学校

卒業以上の年齢の者で、市内市

外は問わない。

【出品料】無料

【規格】

日本画▼20号以上100号以内で

額入り。ヒートン及び吊ひも(又

は針金を取り付けておくこと。

洋画▼20号以上150号以内で額

入り。版画は4号以上で額入り。

ヒートン及び吊ひも(又は針金)

を取り付けておくこと。

彫刻・立体▼制限なし。(安定して

展示できる作品)

工芸▼制限なし。壁面展示の作品

にはヒートン及び吊ひも(又は

針金)を取り付けておくこと。

デザイン▼A2サイズ以上でパネ

ル張り。小型はパネルに構成。

ポスターフレーム可。(ポスター

・イラスト・CG等表現自由)ヒ

ートン及び吊ひも(又は針金を

取り付けておくこと。

書▼仕上がり寸法は91cm×91cm

(3尺×3尺)又は半切以上・1

76cm×48cm以下。縦横自由。

枠張り又は額装。篆刻は二印以

内で印影のみとし、縦39cm×横

30cmとする。刻字は1㎡以内と

する。規定の用紙に墨書(パソコ

ン可)による釈文を添付するこ

と。

写真▼全紙以上でパネル張り。(木

製パネルに限る)額不可。ただし、

組写真は半切以上2枚以内。(作

品裏面で固定すること)

【作品搬出】11月17日(日)午後5時～

7時(予備日)11月19日(火)午前9

時30分～11時30分

【問い合わせ先】一宮市教育委員会

生涯学習課 生涯学習・文化グ

ループ

☎(05886)84-0013

平成25年度

# 文化講演会



作家  
浅田次郎さん

「読む」と  
「書く」と  
「生きる」と

とき **10月19日 土**

13:00 ~ 14:30 (開場は開演 30 分前)

ところ **一宮市尾西市民会館**

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。 ※当日は、手話通訳があります。

「いちのみや文芸2013」  
(1冊800円)

を当日、ロビーにて販売します

**入場無料**  
(要整理券)

入場無料ですが、整理券が必要です。満席の場合は、入場をお断りすることがあります。  
整理券は**9月18日(水)**より一宮庁舎西玄関受付、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、  
尾西南部生涯学習センター、木曾川庁舎生涯学習課、各出張所、中央・玉堂記念木曾川図書館、  
一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

お問合わせ先

一宮市芸術文化協会事務局 (市生涯学習課内) ☎0586-84-0013 (直通)

主催／一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題 字] 武 山 翠 屋  
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)  
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地  
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809